

【安全情報】 ミシガン州アナーバー市におけるジオキサンによる水質汚染問題について

2016年3月8日

在留邦人の皆様へ

フリント市の水質問題が全国的に注目を浴びる中、一部の最近の報道では、1960年代から1980年代にミシガン州アナーバー市において廃棄された有機化合物の1,4ジオキサン(1,4-Dioxane)が、このまま市内の地下水に浸透し続け、市民の生活水源であるバートン貯水池(Barton Pond)に到達した場合、市民への深刻な健康被害が懸念されると報じられています。

1,4ジオキサンは無色透明な水溶性の液体であり、工業用溶剤として使用される一方で、人体に対しては神経、腎臓、肝臓への障害や発がん性を示すとされる物質です。

(※注意：「ダイオキシン(dioxine)」とは異なる物質です)

アナーバー市のジオキサンによる水質汚染問題は、1966年から1986年の間に当時のGelman Sciences社(現Pall Corp社)がアナーバー市西部(Scio Township)に工業用ジオキサンを大量に廃棄したことが発端となっており、市当局もこの問題を認識しています。

現在ミシガン州政府は、生活用水に含まれるジオキサンの安全基準濃度が「85ppb(※part per billion、水10億リットル中ジオキサン85リットルの濃度)」以上で発ガンのリスクが10万分の1であると設定しているところ、2010年の米環境保護庁(EPA)の発表では「3.5ppb」とされており、ミシガン州環境局(DEQ:Department of Environmental Quality)は、安全基準値の見直しを求められていますが、関係者の間で行われている水質調査に大きな違いがあるなどの理由から合意が得られず事態は膠着している状態です。

最近の報道によると州環境局の幹部は、ジオキサンがバートン貯水池に到達するまでには約11,000ft(約3.3km)あり、またバートン貯水池の構造上ジオキサンが浸透することはないとして現時点でアナーバー市の生活用水に問題はないと語っていますが、一方では安全基準値を超える井戸水を使用していた家庭があるなど様々なニュースが報じられています。

在留邦人の皆様(特にアナーバー市在住の皆様)におかれましては、最新の情報の入手に努め十分注意するようお願い申し上げます。

【関連サイト・報道記事】

- ・アナーバー市ホームページ
<http://www.a2gov.org/departments/systems-planning/Sustainability/pls/Pages/pls.aspx>
- ・ワシントン郡ホームページ(ジオキサン水質調査マップ)
http://www.ewashtenaw.org/government/departments/environmental_health/card
- ・1,4ジオキサンとは
<http://www.nihs.go.jp/ICSC/icssj-c/icss0041c.html>
- ・報道記事
http://www.mlive.com/news/ann-arbor/index.ssf/2016/03/what_happens_if_dioxane_contam.html

【お問い合わせ先】

在デトロイト日本国総領事館

代表：313-567-0120(内線：208(安全担当))

メール：seikatsuanzen@dt.mofa.go.jp